



報道関係各位

2025年12月11日
テラサイクルジャパン合同会社

「おくすりシート リサイクルプログラム」の回収エリア拡大

都内初の自治体として、東大和市での展開を開始

東大和市役所庁舎にて協定締結式を実施

テラサイクルジャパン合同会社(所在地:神奈川県横浜市、ジェネラルマネージャー:浪花優子)は、第一三共ヘルスケア株式会社(本社:東京都中央区、社長:内田高広、以下第一三共ヘルスケア社)と協働し、2022年10月より横浜市内で展開している「おくすりシートリサイクルプログラム」(以下「本プログラム」)の回収エリアを拡大し、本日12月11日(木)より東京都東大和市での回収を開始したことをお知らせします。

本プログラムの開始にあたり、本日、東大和市役所庁舎にて、東大和市、第一三共ヘルスケア社および当社の三者で、協定締結式を実施しました。



左から:第一三共ヘルスケア 岩城氏、東大和市 和地市長、テラサイクルジャパン 浪花氏

締結式では、各代表者の挨拶に加え、協定内容と本プログラムの説明の後、協定書を取り交わしました。

本プログラムを持続的な取り組みとするために、東大和市における回収では、回収方法およびコストの最適化を検討するなど、運用方法の見直しを図ってまいります。回収拠点は、2026年1月までに東大和市役所および市内の市民センター・公民館の全10カ所に回収BOXを設置し、その後調剤薬局やドラッグストア、病院などの施設へと広げていく予定です。

日本初^{*1}の取り組みとしてスタートした本プログラムが、企業の枠を越えて広く社会に根ざした活動へと発展していくことを目指し、今後も自治体や企業と力を合わせ、地域の皆さまのご協力をいただきながら、資源循環のさらなる推進に取り組んでまいります。



◆東大和市でのプログラム実施概要

実施期間:2025年12月11日(木)より開始

回収対象:使用済み「おくすりシート」(購入店舗やメーカーを問いません)

回収場所:東京都東大和市役所および市内の市民センター・公民館 全10か所
(現在3カ所閉館中のため、2026年1月までに設置予定)

専用回収 BOX:おくすりシートくるりん BOX

※詳細は下記公式ホームページよりご確認ください。

テラサイクルリサイクルプログラムサイト:「おくすりシートリサイクルプログラム」

<https://www.terracycle.com/ja-JP/brigades/okusuri-sheet>

第一三共ヘルスケア「おくすりシートリサイクルプログラム」特設サイト

<https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/okusuri-sheet/>



◆担当者コメント

テラサイクルジャパン合同会社 ジェネラルマネージャー 浪花 優子

2022年に日本で初めて横浜市で開始した「おくすりシートリサイクルプログラム」は、私たちの想像をはるかに超える大きな反響をいただきました。「おくすりシート」は、一つひとつはとても小さく、日常の中で当然のように廃棄されてきたものであり、これがリサイクルの対象となり得るとは、多くの方が思いもよらなかつたのではないかと思います。しかし、そうした小さなシートも積み重なれば相当量の廃棄物となります。現在、その「おくすりシート」が多くの皆さまのご協力によって回収され、資源循環の仕組みが形づくられつつあります。このたび東大和市様と新たに取り組みを開始し、エリアを拡大できることを大変嬉しく思います。この広がりは、地域の皆さま、行政、そして企業が一体となって循環型社会の実現を目指す動きが、着実に前進している証しであると感じております。私たちはこれから、東大和市にお住まいの皆さまのお力添えをいただきながら、本取り組みをともに進め、循環型社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

第一三共ヘルスケア株式会社 サステナビリティ推進マネジャー 岩城 純也氏

「おくすりシートリサイクルプログラム」は、横浜市の活動からスタートし、順調に回収が進んでいます。そしてこのたび、本プログラムはさらなる発展に向け、東京都内では初めて東大和市で展開を開始します。回収BOXは市内の公共施設に設置し、市民の皆さまにはリーフレットやポスター、イベントなどを通じて参加方法をご案内し、多くの方にご協力いただける仕組みを目指します。

また、東大和市での実施にあたっては、3年間で得た知見を活かし、運用方法を改善しました。これにより、本プログラムが持続的な活動となるよう努めてまいります。

さらに、これまで回収したシートは粉碎・分別し、ペンやトレーなどアップサイクル品への活用を試みるなど、資源循環の可能性を広げる工夫も進行中です。小さなアクションが環境を守る——その挑戦を、本プログラムで実現できるよう、引き続き取り組んでまいります。

東大和市 市長 和地 仁美氏

このたびは、第一三共ヘルスケア株式会社様及びテラサイクルジャパン合同会社様のご理解、ご協力のもと、「おくすりシートのリサイクルの促進に係る協定」の締結に至りましたことに対しまして、心より感謝申し上げます。本プログラムは、先行して実施している横浜市を拝見しますと、高い回収実績を挙げております。今後、当市でも多くの市民の関心を集め、プラスチックの分別やリサイクルへの理解促進が期待できる取組であると認識しております。



当市におきましては、これまでペットボトルや使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収など、全国に先駆けたリサイクルを展開してまいりました。これまでの実績を基盤に、更に今回の協定締結を契機として、リサイクルの取組を充実させていきたいと考えております。

「ゼロカーボンシティ宣言」を行った当市としましては、今後、多くの市民にご参加いただきながら、両社と連携し、持続可能な社会の実現を目指して取組を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

＜ご参考＞

「おくすりシートリサイクルプログラム」について

【概要】

本プログラムは、使用済みの「おくすりシート」を回収・リサイクルする日本初^{*1}の生活者参加型プログラムです。「おくすりシート」は必要不可欠な医薬品包装資材の特性上、削減が難しく、今後も高齢化の進展に伴い使用量の増加が見込まれることから、本プログラムでは「おくすりシート」がリサイクル可能な資源であることの認知を高め、資源として循環する仕組みを確立することを目的としています。

神奈川県横浜市内の薬局・ドラッグストア、病院、公共施設等で展開しており、回収拠点は本年11月末時点で100カ所に上ります。

【進捗状況】

本プログラムは、2022年10月にスタートし、回収量は本年11月末時点で16トンを超えました。回収した「おくすりシート」は、粉碎・加工し、ボールペンやトレーに再生し、回収により付与されるテラサイクルポイントとの交換が可能になりました。また、この再生したボールペンは、横浜市内の回収拠点であるケープラザにも提供されました。

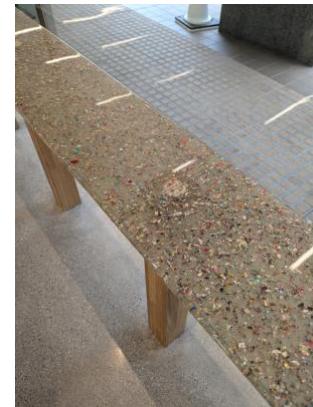
本年10月には、早稲田大学GCC Common Room内に「おくすりシート」の再生素材を用いて作製されたカウンターテーブルが設置されました。



おくすりシートリサイクルペン



おくすりシートリサイクルトレー



早稲田大学GCC Common Room内
カウンターテーブル

設計:IOI architects / トイアーキテクツ
リサイクルプラスチックマテリアル制作:株式会社 REMARE

【今後の展開】

回収した「おくすりシート」の再生を加速するため、より効率的なリサイクル手法を検討するとともに、回収拠点の拡大を目指します。

*1 生活者参加型のリサイクルプログラムとして(自社調べ、2022年10月時点)



■テラサイクルジャパン合同会社について

テラサイクルは、「捨てるという概念を捨てよう」というミッションのもと、現在の複雑化する廃棄物問題に対し、革新的で持続可能なソリューションを提供するソーシャルエンタープライズです。廃棄物の概念を再定義し、リサイクル・再生資源・リユースを推進する独自のプラットフォームを構築・運営。実用的なソリューションを開発する国際的リーダーとして、米国に本社を置き、し、世界 18 力国で活動しています。

(<https://www.terracycle.com/ja-JP/>)